

今こそ考える「これからの授業づくり、学校づくり」

2020.10.25 キンキアがインスセミナー
授業づくりの深み
教師主導と学習者主体の
二項対立を超えて教科する授業へ

京都大学 教育学博士



目標 命 集団学 授業づくり

Powered by RECRUIT

なぜいま「授業」を向うのか？

Grade = 在学年数
1定年限の向履修制ばよい。修得主義

履修主義
共同体としての生活集団を
軸とした構内

修得主義
機能的な学習集団を
軸とした構内
Grade = 教材習得の段階

いま改めて確認すべき
授業づくりの方向性とは？

授業
教材を介した
教師と生徒の
コミュニケーション

本物の学びとは？

正解のない問題に
対応する
現実のリアル・文化の異質
を複雑さから受け止める
=「本物の学び」

「リアル」な学び
「リアル」な学び
「リアル」な学び

成長の伸び代を
つくりだす

「リアル」な学び
「リアル」な学び
「リアル」な学び

心の
広がり
視座の
あがり
学び

コロナ禍が投げかけているもの

×新たな課題
○これまでの課題が
顕在化

オンライン学習に向いのは授業だ！！
授業を届け
学びを支援
学習者自身の組み立てが重要

個別化
指導の
個別化

個性化
学習の個性化

実生活で生かされている場面
専門家が知を探索する過程を体験
教科の本質的なプロセスの面白さの追求

世界への関心を広げよう
言語的・高次の
深さを重んじてほしい

揺れる「授業」

教え ▶ 学び？
授業 ▶ 学び？
一斉 ▶ 学び
個別最適化 ▶ 学び

進歩主義
×バッド
×グッド

「学び」「自主」「学びの責任」
強調の落とし穴

主体性の
矮小化

教師の「受け」
兼持
両面存在

生徒に
学びの責任
教師が育つ場
探索

「わかる」を超えた
「体験」を経験する学習活動

「わかる」
「体験」

「わかる」を超えた
「体験」を経験する学習活動

教科する授業

「わかる」過程の
プロセスを
子どもたちも体験

世界
知識

教師
対話
指導
対話
生徒

「旧来型の授業」といって
見落しているもの

「旧来型」
議論を
おこなう
場づくり

「新しい時代」子どもを動かすための授業

立ち止まりと回り道
重要だはずなのに...

弱点を冷静に見定めることが重要

「小さな学校」と「大きな学校」の間

授業づくり

学びの導入
の授業

自主学習

授業と自主の間の遠隔学習機能の増設

教師と
生徒集団に
依拠

学びの場づくり

「教科する」授業の
提起が授業像

「教科する」授業の
提起が授業像

つまぎ先生
教師が住む

つまぎ先生
子ども自身が
住む